

1. 鉦山・建設系分会は、我が国の市民生活・経済産業活動を支える 社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

鉦山・建設系分会の概要について

鉦山・建設系分会は一般社団法人明専会の支部の一つ（在京の他の5分会と一体となって東京支部を構成して、連携をとっています）で、下記の、我が国の市民生活・経済産業活動を支える社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

○明治専門学校創設以来の伝統を誇る鉦山工学科（採炭科、採炭工学科を含む）および昭和37年に改組された開発土木工学科、設計生産工学科（建設工学コース）、建設社会工学科を卒業及び同系の大学院を修了した者（下表参照）

○東京都、千葉・神奈川・埼玉の各県及びその近郊に勤務及び在住されている者
現在の会員（連絡先が確認されている方）は、昭和14年度の卒業生から平成30年度まで、約320名を数え、会員相互の交流と親睦を図り、東京支部や母校と連携して、学生育成の支援に努め母校の発展に寄与していくことを目的に活動を進めております。

分会の主な定期的な活動は、①年次総会及び新人歓迎会、②春と秋の講演会、③年数回の幹事会及び東京支部主催の各種のイベントへの参加・協力です。

最近では、会員の皆様方のご協力もあり、これらの活動への参加会員数が20名を越えるようになり、長年の悲願：参加者数20名の壁の突破することが出来ました。

さらに参加者を30名（会員の約10%）に近づけることと、平成年代の若手、女性会員の分会活動への積極的な参画を図ることを、当面の目標として努力致しております。

(参考)	鉦山・建設系学科の沿革
1907 (明治40) 年	私立明治専門学校設立許可
1909 (明治42) 年	私立明治専門学校 (4年制) 開校 採鉦学科 設置
1921 (大正10) 年	官立移管 鉦山工学科 改称
1938 (昭和13) 年	採炭工学科 増設
1944 (昭和19) 年	明治工業専門学校 (3年制) 改称 採鉦科 改称
1946 (昭和21) 年	採鉦科鉦山分科・採鉦科土木分科 設置
1949 (昭和24) 年	九州工業大学 設置 (5月31日) 鉦山工学科 設置 明治工業専門学校を包括
1964 (昭和39) 年	開発土木工学科 改組
1988 (昭和63) 年	設計生産工学科 建設工学コース 改組
1997 (平成09) 年	建設社会工学科 設置
2008 (平成20) 年	建設社会工学科に 建築学コース 設置
2010 (平成22) 年	建築学コース 学生受入開始
2012 (平成24) 年	建築学コース 第1期生卒業

2. 平成31年度・令和元年度は下記の行事を予定しています。

分会および東京支部では、平成31年度（5月から元号が変更されます）は、下記の行事を予定して、会員皆様方との交流を期待しております。

なお、各行事の詳細については、決定次第にその都度、下記『3. 分会等行事のご案内』において、ご案内いたします。

平成31・令和元年度分会行事予定表

開催予定月日	行 事 名 等	備 考
1月26日（土）	東京支部・鳳龍クラブ新年会	東京支部行事
2月 9日（土）	第4回利き酒会	東京支部行事
2月16日（土）	明トラ大会（第14回；分会対抗）	東京支部行事
3月13日（水）	幹事会	
3月16日（土）	明専会社員総会・支部長会議	明専会本部行事
4月20日（土）	東京支部春季講演会	東京支部行事
5月25日（土）	明トラ大会（第15回）	東京支部行事
6月15日（土）	分会総会・春季講演会・新人歓迎会	
7月 6日（土）	関東地区新人歓迎会	東京支部行事
8月24日（土）	明トラ大会（第16回；分会対抗）	東京支部行事
9月 上旬	幹事会	
10月 5日（土）	東京支部秋季講演会	東京支部行事
11月 9日（土）	分会秋季講演会・懇親会	
11月30日（土）	明トラ大会（第17回）	東京支部行事
12月18日（土）	東京支部役員会・忘年会	東京支部行事
1月 下旬	幹事会	

注) 上記の他、東京支部行事として、

「東京企画委員会」が毎月第3水曜日、

「鳳龍クラブ運営委員会・東京支部役員会」が隔月で第3水曜日に開催。

3. 分会等行事の開催のご案内

(1) 6月15日（土）に令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会を開催致します

平成31年度総会・春季講演会・新人歓迎会を下記により開催致します。

総会後の春季講演会の講師には、母校の鬼東（設建H4）教授をお迎え致します。

学科の近況や先生が長年取り組んでこられた研究「魚のすみやすい川づくり」について興味深いお話を御願ひしております。

会員の皆様、多数のご参加をお待ちしております。

令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会

開催日時 令和元年 6月 15日(土) 11:00~14:00
開催場所 明専会東京センター・九州工大鳳龍クラブ(新橋)
電話: 03-3572-2009

行事予定 **総会** 11:00~11:30
講演会 11:30~12:30
演題: 学科の近況と
研究内容(魚のすみやすい川づくり)について
講師: 九州工業大学教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4)
(講演の要旨、講師略歴を下段に掲載しています)

新人歓迎会 12:30~14:00
新人歓迎会会費 4,000円(当日ご持参下さい)
なお、新人会員は1,000円
若手(35才以下)及び女性会員は2,000円

春季講演会のご案内

演題: 学科の近況と研究内容(魚のすみやすい川づくり)について
講師: 九州工業大学大学院教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4)

講演の要旨

学科の近況として、退職(佐久間先生)および新任教員(趙先生)を紹介いたします。近年の学科の活動(海外派遣、海外からの招聘、国際セミナー(KMKセミナー)など)を紹介いたします。また、入試の変更内容(AO入試の30%拡充)、就職状況などを紹介いたします。昨年度の明専塾(役所などの公的機関)の活動状況を報告いたします。

魚のすみやすい川づくりの一環として、PHABSIMを用いたアユの産卵に適した物理環境の予測方法とそれに基づいた河道設計および魚の遡上に適した魚道の幾何学形状の把握について講演いたします。

講師の略歴

1970年 神奈川県川崎市出身
1988年 福岡県立宗像高校 卒業
1992年 九州工業大学工学部設計生産工学科建設コース 卒業
1994年 九州工業大学大学院工学研究科博士前期課程設計生産工学専攻 修了
1997年 九州工業大学大学院工学研究科博士後期課程設計生産工学専攻 修了
1997年 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻助手
2002年 九州工業大学工学部助手
2003年 九州工業大学工学部助教授
2017年 九州工業大学大学院教授

会員各位宛には、案内状やメールでご連絡済みです。
同封の返信用ハガキでご連絡ください。

4. 分会等行事の結果のご報告

(1) 平成30年度第7回幹事会のご報告

鉾山・建設系分会 幹事会（平成30年度第7回） 議事録

- ・日 時：平成30年12月 7日(金) 18:30～19:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：来年度の年間行事予定、春季・秋季講演会の講師候補等について
- ・資 料：幹事会議題
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎、幸田（7名）

議事 1. 来年度の年間行事予定について

下記のとおり決定した（なお、総会等は、既にダブルで予約済みの他行事との調整を待つ）。

- 総会・春季講演会・新社会人歓迎会：06/01 或いは06/15
（12/13、鳳龍クラブから06/15に決定との連絡あり）
- 秋季講演会：11/09

議事 2. 春季・秋季講演会の講師候補等について

下記のとおり決定した。

- 春季講演会：母校の教授に御願いすることとし、分会長から御願いする。
- 秋季講演会：鋼材関係に洞察の深い同窓生に御願いすることとし、人選を幸田幹事に一任する。

議事 3. 分会幹事の役割分担について

来春まで現行どおりとし、新年度に再度協議する。

(以 上)

(2) 平成31年度第1回幹事会のご報告

鉾山・建設系分会 幹事会（平成31年度第1回） 議事録

- ・日 時：平成31年 3月13日(水) 18:30～20:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：総会等資料の送付作業、今後の案内状送付、幹事顧問制度、幹事役割分担
- ・資 料：分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内状
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

作業	1. 分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内状の発送 上記案内状273通を封書詰めの上、別途、発送 幹事長より、後日、メールアドレス届者宛、メール配信する。
議事	1. 分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内の発送について 毎回、200通を超える案内状を送付しているが、複数回に渡り返信が無い方も多い。 経費節約、作業手間の削減のため、複数回返信の無い方への案内状送付は取り止め、 メールによる案内だけで良いのではないかと。具体的な内容を、今後、検討することとした。
議事	2. 顧問制度について 分会長経験者を始め、分会の活動に貢献された方を対象とした顧問制度について 今後、検討することとした。
議事	3. 分会幹事の役割分担について 分会ホームページ担当を江崎、書記（議事録作成担当）を岡田に変更する。

(以 上)

(3) 令和元年度 鉾山・建設系分会 総会・春季講演会・新人歓迎会 議事録

- ・日 時：令和元年 6月15(土) 11:00～14:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・出席者：24名（別表に参加者を掲載）
- ・資 料：鉾山・建設系分会 2019年度 総会資料

分会長挨拶

- ・鬼束先生の遠路ご出席とご講演に謝意。
- ・また、雨が降るあいにくの天候の中、参加者各位に謝意。
- ・本会を会員交流の有意義な1日としてほしい。
- ・昨年から分会の総会、講演会の出席者が25名を超えて盛況となっており、この状況を続けていきたい。
- ・今や平成年度の卒業生が7割を超えている。平成年度の卒業生の参加を増やすことが分会の盛会につながるの、引き続き取り組みを続けたい。
- ・今年度から終身会員制度が設けられた。総会参加補助を含めてメリットがあるので、制度利用をご検討いただきたく。

1. 総 会 11:00～11:35

分会長が議長につき、資料により審議を進め、下記のように議決された。

- 議案1. 2018年度 活動報告平及び会計報告・会計監査報告について
原案どおり承認された。

議案 2. 2019年度 活動計画（案）及び収支計画（案）について
原案どおり承認された。

議案 3. 明専会終身会員について
議長より制度の説明。質疑無し。

議案 4. 鳳龍クラブ賛助会員について
議長より現状の説明。質疑無し。

議案 5. 幹事の顧問化について
原案通り承認された。

議案 6. 総会等案内の郵送について
原案通り承認された。

議案 7. 企業幹事のお願い
議長より現状と対応の説明。質疑無し。

2. 春季講演会 11:35～12:55

母校から鬼東先生をお迎えして春の講演会を行った。

演題：「学科の近況と研究内容（魚のすみやすい川づくり）について」

講師：九州工業大学大学院 教授 鬼東 幸樹誠 氏（設建H4）

講演の概要は以下のとおりである。

- ・学科の近況として、退職および新任教員をご紹介いただいた。
- ・近年の学科の活動について、海外派遣、海外からの招聘、国際セミナー（KMK セミナー）をご紹介いただいた。近年は、海外交流が活発になっているとのこと。
- ・入試の変更内容、就職状況などをご紹介いただいた。特に、AO入試を30%拡充する等の動きもあること、また、最近では、受験者の偏差値も上昇して狭き門となっていること、地元福岡県外からの学生も増えていることをご説明いただいた。
- ・明専塾は昨年度地方公務員、今年度はゼネコンが担当であること、九州工大技術士会の活動もご紹介いただいた。
- ・魚のすみやすい川づくりの一環として、河道設計及び魚の遡上に適した魚道の幾何学形状の把握、PHABSIMを用いたアユの産卵に適した物理環境の予測方法をご紹介いただく。
- ・河川整備事業において、多自然型の川づくりが求められるなど環境配慮が重視されていること、事業の利害関係者（特に漁業組合）への理解を得るために求められていることをご説明いただいた。

先生のご講演の後、真柴幹事長（設建H08）の進行で、学科の近況や先生の研究内容に関して、活発な質疑応答が行われた。

3. 懇親会 13:00～16:00

- ・ 幸田幹事（設建H16）の進行で懇談会を行った（今年度は新社会人の参加は無し）。
- ・ 柿原会長（開46）の挨拶により懇親会を開始した。
- ・ 初参加者（2名）の挨拶の後、参加者が全員、着席順に抱負・近況等を披瀝し会話も弾み、懇親を深めた。
- ・ 懇親会が盛り上がり予定の時間を超過したが、加藤さん（開41）の挨拶で中締めとした。

2019年度総会 出席者名簿（19名）

卒業年	お名前	備考	卒業年	お名前	備考
設建 H04	鬼束 幸樹	講師	開 50	樋口 孝憲	
鉦 31	日隈 證		開 51	小郷 政弘	会計
開 41	足立 二雄	幹事	開 61	井上 博士	
開 41	加藤 武		開 62	岡田 光志	幹事
開 41	西岡 康博		開 H01	江崎 純	幹事
開 43	原田 昌秀		設 H08	真柴 浩	幹事長
開 46	柿原 利孝	分会長	設 H16	幸田 英司	幹事
開 46	時任 正人		設 H16	伊藤 浩介	初参加
開 48	森 康晴		設 H25	岩本 浩明	初参加
開 48	大石 幹和		—	—	

(以上)



(4) 令和元年度(平成31年度) 第2回幹事会のご報告

- ・日時：令和元年 6月15日(土) 16:00~16:30
- ・場所：明専会東京センター/九州工大鳳龍クラブ
- ・議事：次回以降の講演会の講師、幹事の顧問化、総会等案内の郵送、企業幹事
- ・出席者：柿原、真柴、足立、岡田、江崎(5名)

議事 1. 次回以降開催の講演会の講師について

1) 今年度の秋季講演会

- ・候補者に現在、打診中で6月20日頃に可否のご回答をいただく予定であることを確認した。

2) 来年度の春季講演会

- ・本日ご講演のお礼方々、今年度の鬼東先生に相談する。
- ・最近、機会が少ない構造系、地盤系の先生も念頭におく。

議事 2. 幹事の顧問制度について

- ・今年度の総会で承認されたが、該当者は無いことを確認した。

議事 3. 総会等案内の郵送

- ・返信の無い方への郵送停止と、メールを主とした案内は今年度の総会で承認された。会員に対して周知が必要であることから、2回(今年度の次回の秋季講演会、来年度の総会・春季講演会)は郵送停止の案内を送付することを決定した。

議事 4. 企業幹事について

- ・今回の総会・春季講演会に不参加ではあったが、卒業生の多いゼネコン、コンサルタント、マリコン、メーカー等の所属者に対して働きかけを行うことを確認した。

(以上)

5. 分会では会員相互の交流、情報交換、そして懇親の場として 春と秋に講演会を開催しています。

私たちが日頃取り組んでいる道路・港湾・空港・鉄道や河川の整備あるいはビル建築等の土木・建築の各種のプロジェクトは、どれ一つをとっても同じものはありません。各々のプロジェクトはそれを施工する環境において、過去の事例等を踏まえ、自然的条件・社会的条件・経済的条件等に最適な構造物が計画され、設計され、造り上げられていくのです。その過程では、最良の資材や建設機械等を組み合わせ、各分野の優秀な技術者の知見を結集して、最高の技術力を活かしていくことが求められます。

そして、優良な社会資本を市民の皆様の利用に供して、持続ある社会の発展のため、後世の人のためになる国の遺産を造り上げる仕事に取り組んでいるのです。

在学中に折に触れ、恩師から、建設工学は『経験工学』であり、建設技術者は『人を動かす』技術者であると諭された所以であります。

分会では、このような会員の皆様の日頃のお仕事に少しでもお役に立てることが出来たらと、年2回 一春の年次総会開催時と秋に一 講演会を開催して、母校の恩師や会員の皆様方から

- ①国土整備計画、地域開発計画、 ②まち造りの推進、 ③技術上の最新の課題、
- ④話題の大プロジェクトの概況、 ⑤会員の現場経験談

等に関する話題提供を頂き、参加者間での自由闊達な議論を展開しております。

会員の皆様多数の参加を頂いて、参加者相互の交流・懇親を深め、国土や地域社会のあり方、技術力の向上方策、プロジェクトの安全で効率的な完遂のための組織や人材の活用のあり方等を論じて、我が国の市民生活の向上、経済・産業の発展を支える社会資本の整備に責任を持つ建設技術者としての矜持を高めていって貰いたいと願っています。

鉾山・建設系分会 春・秋季講演会の実施状況

開催年月日	講師名 (敬称略)	演 題	参加者
22年 6月 5日(土)	加藤 武(開41)	海外建設工事の実情	12名
23年 6月 4日(土)	勝井秀博(開46)	英虞湾における水質浄化の取組 —浚渫土砂を用いた人工干潟の造成—	7
23年11月12日(土)	柿崎利孝(開46)	私の海外工事 国際建設技術協会 小沢海外功労賞を受賞して	9
24年 4月21日(土) (東京支部春季講演会)	安田 進(開45)	東京湾岸の住宅地を襲った液状化被害 :東日本大震災の特殊要因と復旧への問題点	20 (75)
24年 5月26日(土)	堀越公博(設建H08)	北九州市の河川事業の概要について	8
24年12月16日(土)	鶴田秀典(開42)	電気通信事業に携わって40年	8
25年 6月22日(土)	森 康晴(開48)	建設コンサルタント事業に携わって40年	10
25年12月 7日(土)	伊藤東洋男(開41)	二つの大震災に関係して思うこと	12
26年 6月 7日(土)	前野弘幸(開62)	ヒューマンエラーとの戦い	12
26年11月 8日(土)	幸佐賢二(開52)	東日本大震災による被害について	

	竹田宣典(開57)	海水を利用したコンクリートへの挑戦	16
27年 6月13日(土)	永瀬英生(開55)	液状化に関する研究の現状と課題について	18
27年11月14日(土)	重枝未玲(設建H10)	気候変動に適応した水災害に対する 防災・減災技術について	18
28年 6月18日(土)	佐久間治 (特 別 会 員)	建築学コース概要及び 建築デザイン研究室の活動について	14
28年11月 2日(水)	ローカムサイ チンダー(建社H23)	目に見えない豊かさがあふれる国、 ラオスの紹介	11
29年 6月10日(土)	(講師の都合で中止、意見交換会に変更) 話 題:豊洲移転問題を建設技術者としてどう考えるか		15
29年10月14日(土)	高宮正英(開45)	第二名神 木曾揖斐プロジェクト -世界初の構造形式 複合エクストラード橋-	18
30年 6月 9日(土)	日比野誠(設建H06)	学科の近況とコン研の研究と思い出	25
30年 6月 9日(土)	村沢 譲 (開46)	地盤ひとすじ・半世紀	20
令和元年 6月15日(土)	鬼束幸樹(設建H04)	学科の近況と 研究内容(魚のすみやすい川づくり)について	
令和元年11月 9日(土) (予 定)	(未 定)		

注) 講師名の中で太字は九州工業大学教授等

安田先生の講演の参加者：上段は分会、下段（ ）内は支部全体

6. 建設系の同窓生は、隔年に、北九州に集まっています。

鉱山及び建設系の学部・大学院の卒業・修了者は、隔年に、学びの地・北九州に集い、親睦を深め、情報の交換を行っております。

平成5年11月に第1回同窓会が開催されて以来、最近では隔年に開催されており、平成30年で、12回目を数えております。毎回『建設系』の名の下に、全国各地から150名近くの同窓生が集い、旧交を温めております。

昨年の11月の第12回同窓会には、分会から10名近い会員が参加しました。

来年の11月には第13回同窓会が予定されています。分会員の皆様、多数、北九州へ駆けつけられることを期待しております。

7. 分会は、下記の者でお世話いたしております。

鉾山・建設系分会役員名簿

分会長	柿原利之	(開46)	本部代議員
幹事長	眞柴浩	(設建H08)	本部代議員
幹事	足立二雄	(開41)	
同(会計担当)	小郷政弘	(開51)	
同(書記担当)	岡田光志	(開62)	本部代議員
同(HP担当)	江崎純	(開H01)	
同	幸田英司	(建社H16)	

幹事若干名の増員を検討中です。

特に、平成年代、建築学コース卒の方の自薦・他薦を求めています。

8. 連絡先 —ご要望、お問い合わせはこちらへ—

分会へのご要望、お問い合わせ、行事へのご参加申し込み等は下記へお寄せください。

(ご連絡先) 幹事長 眞柴浩 (設建H8)

メールアドレス : masiba@ce.taisei.co.jp